

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
株式会社リカバネ

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

未来へ夢プロジェクト



日吉台小学校中庭に子どもたちが描いたジャンボな絵画がお目見え。殺風景といわれた中庭をよみがえらせる夢プロジェクトで、未来を託す子どもたちの夢ある絵画が鮮やかに浮かび上がった。1月24日、午前10時、除幕式を行ないお披露目する。

通路があり、右側には、太陽と虹が輝く昼間、左半分は満点の星が輝く夜の絵が描かれ、どちらにも「ひよし君」を登場させている。絵は縦5.5尺、横6.5尺の大きなもの。作品づくりは、成安造形大の藤井俊治助教はじめ同大造形大の協力を得て実施。子どもたちが描いた絵を敷地いっぱいの大きい紙に拡大、6年生児童15人がカーボンをを使い作品敷地に絵を写し取り下書きした。

中庭にジャンボな絵画を描くことには、独自性があり明るく希望が持てる、日吉台小のキャラクター「ひよし君」を活かしたものを基本に全校児童からイラストを募り、集まった作品をもとにプロジェクトチームが「いいとこどり」し作品を決定した。

その後、速乾性の特殊な絵具を使い色付けし、絵具が手足についているのも気にせず夢中で作品づくりに向かい完成させた。

社会福祉功勞で呉屋さんを表彰

大津市表彰式典

呉屋之保さん



永年にわたり社会福祉の向上に貢献したとして、学区社会福祉協議会の呉屋之保会長が11月25日大津市役所で行われた大津市表彰式で、「令和3年度大津市社会福祉関係功勞者表彰」を受けた。

呉屋さんは、平成28年4月、日吉台学区社会福祉協議会会長、令和3年6月から大津市学区社会福祉協議会会長を務めるとともに大津市民生委員、児童委員協議会連合会長も在任。平成26年

1月からは、県民生委員協議会会長にも就任し、学区社会福祉協議会の会長として永年従事、豊富な知識をもって、地域福祉の向上に大きく貢献、寄与した。

呉屋さんは、これまでも平成25年11月、大津市長表彰、同26年11月、大津市政功勞者表彰、同28年10月、県知事表彰を受けている。

住の相談受け付けます

学区空き家対策委

学区空き家対策委員会は、学区住民が抱える「住」に関する問題や課題など、住民の悩みを解決する「住まいの相談」窓口を開設している。

これまでの対策委の協力は、学区住民が相談のなかで、住民が相談や税対策、修理や建て替え問題など「住」に関するさまざまな問題、悩みなどを抱えていることが

大規模災害に備え避難所開設訓練

自主防災会

避難所開設訓練は、会場を変え2班に分かれて実施、各自主防災会員ら参加した。

新型コロナウイルス感染症の発生源が不明なため、自主防災会役員から参加者に会場での避難者の受付、名簿作成、感染症対応室設置、要援護者支援室設置、簡易トイレの設置、非常食の確保と点検、避難者用駐車場の確保などの説明があり、手順などをチェックした。



(日吉台小体育館で避難用具を点検する自主防災会員)

住まいのお困りごと相談

- 住宅のリフォーム、賃貸、宅地に関する事、遺産相続、後見など
- 空き家見守り(庭の草刈り、樹木の剪定、簡単な修繕)、住宅維持管理に関する事

メール: hk110137@yahoo.co.jp
電話: 090-5053-5455
空き家対策委員会事務局: 濱崎 博

区内住民の戸建て住宅敷地内で使われなくなったガレージを車庫として貸すあっせん事業を実施、空きガレージの募集をしている。

駐車料金は有料。貸したい人と借りたい人双方で話し合い料金などを設定することになっており、対策委が調整も行う。

住まいの相談、ガレージあっせんなどは空き家対策委の濱崎博事務局長(0901505315455)まで。



安易に猫にエサをやらないで!

2匹の成猫から1年で20匹に増える繁殖力があると言われています



はセットで行ってください

活動そろり

コロナ緊急事態宣言解除



ふれあい農園で収穫

西側の学校園で、ふれあい農園（森育代表）グループの人たちが、子どもたちといっしょに野菜の種や苗の植え付けや管理、収穫などを行っている。同小の伝統行事。

ダイコンは、今年9月11日、子どもたちが種まきを行ったもの。その後、グループのメンバーら

の収穫日和。子どもたちは、農園前でふれあい農園代表の森育さんからダイコンの食品としての性質や収穫のやり方を学んだあと、収穫へ。2、3人がかりで自分たちの足より大きく育ったダイコンを引っっこ抜き、歓声をあげていた。（ダイコン収穫に歓声をあげる子どもたち）

立派なダイコンに歓声

日吉台小

日吉台小学校コミュニティスクール事業で学区社会福祉協議会のボランティア事業でもある「ふれあい農園」のダイコン収穫作業が12月6日、小学校体育館西側の学校園で行われ、2年生児童23人がダイコンの収穫をした。

この農園は、平成11年2月にスタート。体育館が水やりや肥料散布、間引きなど栽培管理し育てた。種まきは、いつもの年ならふれあい農園グループの人たちに手伝わってもらっていたが今年、新型コロナを警戒、子どもたちだけで種をまいた。

この日は、ぬけるような秋空がひろがり、絶好

子ども食堂再開へ

感染防止、手づくりパーティーション登場



感染防止のパーティションに囲まれカレーを味わう子どもたち

新型コロナウイルス感染症で中断していた学区社会福祉協議会（呉屋之保会長）が行う「子ども食堂」は、11月27日、日吉台市民センターで、感染防止に注意を払い1年9か月ぶりに再開され、開店を待ちわびた子どもたち53人を含め87人が来場、食堂スタッフ手造りのカレーをおいしく味わった。

子どもたちに食と居場所を提供するだけでなく日吉台に住む大人や子どもたちみんなが楽しく集うふれあいの場づくりを目指す子ども食堂。令和2年2月に開催後、コロナ禍で中断していた。

新型コロナウイルス感染症は、県内でも緊急事態宣言が発出されるなど一時猛威をふるったが、食堂を運営する学区社協や子ども食堂スタッフは、食堂再開に備え感染防止用の段ボール製の卓上用と配膳用の手づくりパーティションの製作を決め、学区老ク連や、地域の有志らに協力を求め、1年がかりで作りを上げた。

子ども食堂のメニューは、子どもも大人も大好きなカレー。甘口、中辛、辛口、幼児向けの王子様などの4種のカレーが用意された。再開された11月の子ども食堂では、この手

づくりパーティションを製作後初めてテーブルに設置、使ったほか、従来セルフサービス方式だった食事方法をスタッフが注文カレーをテーブルへ持参することに変更、手

指の消毒や検温の実施、会場が密にならない様に人の流れをスムーズにするなど、コロナ感染防止にさまざまな気配りをし実施した。



パーティションを組み立てる老ク連会員

世代超えスポーツの秋満喫

ニュースポーツの集い



学区スポーツ振興会、学区老人クラブ連合会、日吉台スポーツ少年団の3団体共催による第17回日吉台「3世代ニュースポーツの集い」が11月28日、日吉台小学校グラウンドで開催、世代を超えスポーツの秋を楽しんだ。

II 写真。新型コロナ感染症の影響で、昨年のニュースポーツの集いは中止。現在、コロナ禍は落ち着きをみせているが、密を避け万全を期すため今回は、体育館での室内スポーツは取りやめた。

集いで行われたのは、日吉台学区外周を巡る2・6キロのウォーキングと、スリースマイルゴルフ。スリースマイルゴルフは、3人一組のチームがクラブとパターを使って日吉台小グラウンドに設けられた8ホールのコースを回り、少ない打数を競うゴルフに似た競技。大会には、高齢者から親世代、日吉台小児童ら3世代合計64人が参加。主催者を喜ばせるほど参加者が多かったのがウォーキングとスリースマイルゴルフ競技を2班に分け実施。ウォーキングでは、紅葉真っ盛りの日吉台周辺の景観を眺めながら心地良い汗を流し、スリースマイルゴルフが行われるグラウンドでは、クラブの打音とともにナイシヨットの声飛びかっていた。

困ります!そのオンツコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用品（ビニール袋、水入りペットボトル）をしましょう。

大津市動物愛護センター

つながる安心

お出掛けの際は スマホ・携帯を持ちましょう

